

2024 年 5 月 20 日

パーパス・ビジョン・行動指針の策定に関するお知らせ

日東富士製粉株式会社は本年、創業 110 周年を迎えたのを機に、社会における当社の存在意義・在り姿として新たにパーパスを策定いたしました。また、パーパスを実現する為のビジョン・行動指針も同時に改定いたしました。



(パーパス体系図)

パーパス

「小麦の持つ無限の可能性で、世界の多様なニーズに挑戦し続ける」

先行きが不透明な環境が今後も予測される中、従来の考え方にとらわれることなく、社会課題の解決に繋がるあらゆる取り組みに挑戦し続けることが重要という当社の社員の思いが込められています。

パーパスの検討に際しては、全社員へのアンケートから会社への思いや課題、問題意識を抽出し、各部門より横断的に選抜された若手・中堅・管理職のメンバーで、ワークショップ形式によるパーパスのコアコンセプトの議論を重ねました。また、パーパスの社内外浸透を担う「パーパス推進チーム」を新たに組成、コアコンセプトを踏まえた多数の社内公募によるパーパス案から、パーパス推進チームと経営層による検討を経て最終決定されました。

ビジョン

「事業基盤の強化により持続的に成長する企業となる」

「能動的に細かなニーズを捉え、新規領域での成長に挑戦し続ける」

パーパスとして掲げた「小麦の持つ無限の可能性で、世界の多様なニーズに挑戦し続ける」を達成するための中長期的な目標として位置付けるビジョンも新たに策定致しました。製粉事業を中心とする既存事業の強化により持続的な成長を目指す事に加え、能動的に細やかなニーズを捉える事で強みを確保しつつ、新規領域での成長に挑戦し続けて参ります。

行動指針

「環境に配慮した製品・サービスの開発と提供により、社会に貢献し続ける」

「法令と社会規範を遵守し、誇りを持って仕事に臨み続ける」

「グローバルな視野をもち、多様な文化を受け入れ、すべてのステークホルダーへの満足度を高め続ける」

パーパスおよびビジョンの実現にあたって、事業を通じた豊かな社会への貢献や地球環境の維持、公明正大であること、グローバルな視野に立つことを念頭においた全社員が遵守すべき行動原則となる行動指針も併せて策定いたしました。

当社は、全社員一人一人がチャレンジ精神と当事者意識を持って、能動的に動きながら挑戦し続ける事で新たな当社の文化を築きあげ、すべてのステークホルダーの皆さまと共に、食の安全・安心、美味しさをこれからもお届けして参ります。

以上